

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ペルランド看護助産専門学校	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市中区東山500番地の3	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年7月16日
敷地面積	33,882 m <sup>2</sup>	作成者	小野 志帆
建築面積	1,659 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,751 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	87%
④上記+	87%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	2.2
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

機能性	3.2
耐用性	2.8
対応性	3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

建物外皮の	4.9
自然エネ	3.0
設備システ	4.5
効率的	1.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	3.1
非再生材料の	3.0
汚染物質	2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	3.5
地域環境	3.1
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 1.魅力的なキャンパスづくり 2.自発的な自主学習を育む空間づくり 3.発表・協働・交流の空間づくり 4.新しい授業、教材に対応できる空間づくり	<b>その他</b> (注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 教室の窓には複層ガラスを採用し、高断熱な施設とする。また、教室は昼光率も高く、採光可能性が高い。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築物移動等円滑基準を満たすよう計画している。階高にゆとりを持たせ、設備システムの変更、更新時が容易にできるようにする。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物外皮の熱負荷抑制に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材の使用や解体時の部材の再利用性向上に取り組んでいる。
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周囲との調和を図り、単調で長大な壁面とならないよう計画している。既存樹木を残したり、新たに樹木を設けたり植栽による良好な景観となるよう計画をしている。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 積極的に緑地を設け、熱的な影響を低減させる取組みをしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	ベルランド看護助産専門学校建替工事	BEE	BEEランク	
	建設地	大阪府堺市中区東山500番地の3 他56筆	1.3		B+
	主用途/延床面積	学校 / 6,750.53 m <sup>2</sup>			

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
<b>CO<sub>2</sub>削減</b>		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	4
<b>省エネ対策</b>		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.6		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.5		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	1.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.1		
<b>みどり・ヒートアイランド対策</b>		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0		
<b>安全快適な暮らし</b>		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	4	
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0		
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0		
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0		

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	